

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすたあと			
○保護者評価実施期間	2024年 10 月 7 日 ～ 2024年 10 月 11 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2024年 10 月 7 日 ～ 2024年 10 月 11 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の事業所での活動内容をブログにあげているので 子供たちが活動している様子をいつでも確認できる。	毎日、かかさずにブログをあげている。 ブログにはモザイク 機能があり、顔出し出来ない子も親御さんが見れば服などで確 認ができる。	偏りが無いように、来所中の子供たちがたくさんブログに載 るようにしていく。
2	家庭に近い環境なので、子供たちが緊張することなく 「ただいま」と帰ってこられる。	自分の家に帰ってきた感覚をもてるように、より身近な存在に なれるように気を付けている。	今まで同様、子供たちにとって身近に感じられる存在に なれるよう、より子供たちの事を知っていくことが必要だと 感じている。
3	色々な場所にでかけるのでマナーを覚えたり、たくさんの人と 交流することで、コミュニケーション能力を高めていくこと ができる。	苦手なことでも、極力本人に行動してもらうようにしている。 他人と関わることに拒否反応を示さないように、たくさんの人 との交流の場を設けるようにしている。	地域の人との交流の場も積極的に作っていききたいと思ってい る。 たくさんの人とふれあう事で、子供たちが生活しやす くなる環境を作っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語療法士や、作業療法士が居ないのでより専門的な療育にか ける部分がでてきてしまう。	失語症や、構音障害の子が言葉への理解があるためコミュニ ケーションが取れており、不便さを感じていなかった。	必要に合わせて、言語療法士や、作業療法士の方の採用も視 野に入れる必要がある。
2	従業員との距離が近すぎて友達感覚になってしまう時がある。	あまり固くなりすぎないようにと考えている事が、従業員の捉 え方によってさまざまになってしまっている。	子供たちとの距離感の統一を従業員全体でもう一度徹底して いく。
3			